

JAMSTEC Library Communication

No. 115

8月の公開セミナーは台風がテーマです。台風がどのような構造を持っているのか、地球温暖化の影響を受けて将来の台風がどのように変貌するのか、そのダイナミックな研究成果にご注目ください。

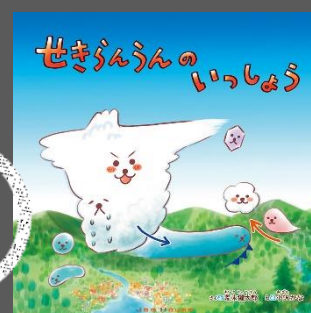
まさに台風シーズン真っ只中の日本ですが、JAMSTEC 図書館ではセミナーのテーマに合わせて台風と地球温暖化の資料を取り揃えて展示しています。台風博士になってライバルに差をつけよう！



『せきらんうんのいっしょう』

荒木健太郎 さく ; 小沢かな え / ジャムハウス刊

夏空にもくもくと広がって急な大雨の原因にもなる積乱雲。その雲が絵本の主人公になりました。「せかいいち高い空の雲になってやるんだ！」どんどん上昇して、壁にぶつかって落ち込んで、やがて再び・・・何だか人の物語みたいですね。作者は気象庁気象研究所の研究官。巻末の丁寧な解説に「雲研究者」の素顔がのぞけます。



『図解・台風の科学：発生・発達のおもしろさから地球温暖化の影響まで』上野充, 山口宗彦 著 / 講談社刊

年間、約80個発生する台風。台風の発生メカニズムや動きを説明するには、物理学的な証明が必要になります。

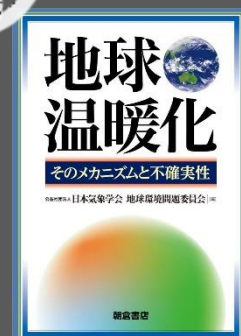
本書は、気象の専門家である著者ができるかぎり平易な言葉を使い、台風の発達・構造・予測・災害・温暖化による影響に至るまでを、基本的なことや研究の成果も交えて、読者の疑問に答えます。



『地球温暖化：そのメカニズムと不確実性』

日本気象学会地球環境問題委員会 編 / 朝倉書店刊

今夏の連日にわたる記録的な猛暑に、地球温暖化を強く意識された方も少なくないと思います。JAMSTEC 研究者も執筆・編集に携わった本書は、地球温暖化現象の最新の知見と不確実性、解決すべき課題についてわかりやすく説明することを目的に出版されました。気候の変化を肌で実感する今、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。





第222回地球情報館公開セミナー 参考文献一覧

開催日時:平成30年8月18日 13:30~15:00

「地球温暖化によって台風のサイズは変わるのか? ~高解像度モデルが示す台風の将来予測~」

講師: 山田 洋平 (ビッグデータ活用予測プロジェクトチーム・極端現象全球予測研究ユニット)



★講師おすすめの参考文献

< 学術論文・専門書 >

論題/書名	著者名	出版社名/掲載雑誌名・巻号・出版年	備考
1 Climate phenomena and their relevance for future regional climate change. (Climate change 2013: the physical science basis: Working Group I contribution to the Fifth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change/Chapter 14, 1217-1308)	Christensen, J. H., and Coauthors (Chapter 14)	Cambridge University Press	★インターネットで下記より無料で閲覧できます http://www.ipcc.ch/report/ar5/wg1/
2 台風力学(台風研究の最前線:上)	筆保弘徳, 中澤哲夫編集	気象研究ノート, 第226号(2013)	
3 台風予報(台風研究の最前線:下)	筆保弘徳, 中澤哲夫編集	気象研究ノート, 第227号(2013)	
4 Response of Tropical Cyclone Activity and Structure to Global Warming in a High-Resolution Global Nonhydrostatic Model	Y. Yamada, M. Satoh, M. Sugi, C. Kodama, A. T. Noda, M. Nakano, T. Nasuno	Journal of Climate, 30(23), 9703-9724 (2017)	★インターネットで下記より無料で閲覧できます https://doi.org/10.1175/JCLI-D-17-0068.1

< 一般書 >

書名	著者名	出版社名	備考
1 絵でわかる地球温暖化	渡部雅浩	講談社	★新着図書
2 図解・台風の科学: 発生・発達のしくみから地球温暖化の影響まで	上野充, 山口宗彦	講談社	★(裏面)Library Communication No.115で紹介しています
3 台風の正体(気象学の新潮流2)	筆保弘徳, 伊藤耕介, 山口宗彦	朝倉書店	

★テーマ関連参考資料リスト:今回は気象、地球温暖化に関する図書を図書館2Fに多数展示しています。

< 一般書 >

書名	著者名	出版社名	備考
1 地球温暖化: そのメカニズムと不確実性	日本気象学会地球環境問題委員会編	朝倉書店	★(裏面)Library Communication No.115で紹介しています
2 異常気象はなぜ増えたのか: ゼロからわかる天気のおもしろい	森朗	祥伝社	★新着図書
3 気象と気候のとらえ方: きまぐれな大気の物理を読み解く	Mark Denny著; 保坂直紀訳	丸善出版	★新着図書
4 変わりゆく気候: 気象のしくみと温暖化	鬼頭昭雄	NHK出版	★新着図書
5 気象で見直す日本史の合戦	松嶋憲昭	洋泉社	★新着図書
6 台風についてわかっていることとないこと	筆保弘徳ほか	ベレ出版	★新着図書
7 窓から見える世界の風	福島あずさ著; nakaban絵	創元社	★新着図書

< 児童書 >

書名	著者名	出版社名	備考
1 せきらんうんのいっしょう	荒木健太郎さく; 小沢 かなえ	ジャムハウス	★(裏面)Library Communication No.115で紹介しています
2 台風とたつまきの大研究(お天気博士になろう! 4)	吉田忠正文	ポプラ社	★新着図書
3 異常気象: 天気のおもしろい(学研の図鑑LIVE eco)	武田康男監修	学研プラス	★新着図書

上記の資料は2018年9月12日まで横浜研究所地球情報館2F図書館にて展示しております

(図書館の開館時間 平日10:00~17:00、公開セミナー開催の第3土曜日10:00~16:00)

お問い合わせ: 海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課 横浜図書館 045-778-5476 library@jamstec.go.jp